

伝

え

た

い、

町の貴重な資源を知ることから

この町の良いところ、あなたは何を思い浮かべますか。この地で生まれ育った人、移住してきた人それぞれ感じることは違います。そのような中、世界的に評価された結果がこうして現れました。

平成25年5月29日、石川県で開催された世界農業遺産国際会議で、阿蘇地域の「草原の維持管理と結び付いた畜産業や農業」が世界農業遺産に認定されました。認定後、阿蘇地域世界農業遺産推進協会は将来にわたって守っていくため、地域資源（伝えた阿蘇の農業遺産資源）詳細は6ページ）を登録し、広報活動をしています。

本町からは、下記の7資源が登録されました。まだまだ、本町には貴重な資源がたくさんあります。しかしながら、過疎化の進行や担い手の不足などで維持管理が困難になってきています。

町に存在する貴重な資源を町を挙げて守っていきましょう。

みさを大豆



大正10年、草部北部地区で井上みさをさん（農家の主婦）が見つけた1本の大豆を、大事に育て増産されてきました。近年、栽培農家が激減してしまいましたが、高森町の一部の農家の中で受け継がれてきた幻の大豆です。

村山牧野（らくだ山）



村山牧野は、らくだの背のこぶに似た姿が地域のシンボルとなっており、「らくだ山」の愛称で親しまれています。この牧野では、地元の牧野組合とボランティアと一緒に野焼きを行っており、その野焼きにより「らくだ山」の景観が維持されています。

菅山地区の棚田群



菅山地区にある棚田。主に「菅山の棚田」、「水迫の棚田」、「水湛（みずたまり）の棚田」の3つがあり、それぞれ非常に素晴らしい景観が広がっています。近年では、過疎化や高齢化に伴い消滅の危機に瀕していますが、地元の農家が頑張っています。

阿蘇の農業遺産資源

阿蘇地域世界農業遺産とは

世界農業遺産とは、伝統的な農業・農法と、それによって育まれた文化や土地景観、生物多様性を保全することを目的として、国連食糧農業機関（FAO）が認定するものです。世界農業遺産としては初めてとなる民間イニシアティブの下、市町村や県が連携しながら認定を目指した取り組みが行われました。

メリット

●国内だけでなく国際的な知名度も高まることから観光振興や農業振興へ活用し相互が連携することにより、新たな地域の農業の牽引が期待されます。

●阿蘇の農業の価値が世界レベルであると認められることにより、経済社会の変化に伴い継続が難しくなっている野焼きなどの取組みの維持に対する県全体の機運が醸成されることが期待されます。

●阿蘇地域が現在取り組んでいる世界文化遺産の認定への弾みとなります。

●地域の農林産物のブランド化などの取組を通して付加価値も期待できます。

認定後の責務

認定されることによって、農業生産活動そのものに直接制限が加えられるものではありませんが、認定の核となる農業システムが保全されることが必要です。

前原牧野とキャンプ場



前原牧野の一角に鍋の平キャンプ場があります。周辺にはあか牛が放牧され、眼前にそびえたつ根子岳の雄大さに感動します。また、多くの動植物が見られるため、夏には多くの小中学生や家族連れが訪れ、自然環境学習の場にもなっています。

上洗川神社の湧水



一説には、祭神である健甕龍命（たけいわたつのみこと）が旅の着物を濯いだことから洗川というそうです。神社横からでる湧水は、日量500トンと言われており、この神社で、年に一回行われる五穀豊穡を願う集落の集まりで、水への感謝が行われています。

村山牧野と高森殿の杉



村山牧野内に、「高森殿の杉」（通称、殿の杉）という独特な形をした杉があります。近年、殿の杉は観光スポットとして定着しつつあります。牧野と殿の杉が一体となった光景は大変珍しく、一見の価値があります。

色見のつるのこいも



里芋の一種ですが、火山灰土壌のやせた土地にしかできない品種です。一説には形が鶴の首に似ているので、鶴の子芋というそうです。現在、生産された「つるのこいも」のほとんどは、高森田楽で使用されています。

農業遺産資源を守ることは

本町から7資源が登録されている「伝えたい阿蘇の農業遺産資源」。世界農業遺産としての価値を踏まえ、改めて高森町を見つめ直してみましよう。

伝えたい阿蘇の農業遺産資源

自然	文化	景観	食	営農
希少な動植物やその生息地、水源、その他特長的な自然など	阿蘇地域に伝わる農耕儀礼・祭事、歴史的な建造物・構造物、独自の生活様式など	地域が誇れる美しい農村風景、歴史的・文化的景観など	阿蘇地域の食材を主に使った伝統的な郷土食	阿蘇地域に伝わる在来農作物、伝統農法及び歴史的な農業土木施設など

町には、7資源（本誌4・5ページ）以外にも、まだ登録されていない資源が隠れています。

世界農業遺産として阿蘇の農業の価値が世界レベルとなった今、この大きなチャンスを活かさなければ、本当の意味での価値を実感できません。そして、次世代を担う人へ農業システムを受け継ぐことが、私達の役割なのではないでしょうか。

しかし、資源を保全する担い手が不足している現状では、今後の保全が懸念されます。各団体や自治体では、様々な活動を行うなど保全に努めています。このような活動を一人一人が考え、行動することが「町」を守る大きな力になります。

● 世界農業遺産としての価値

草原を活用した伝統的な農業

- ▶放牧、採草、野焼きなどによる草原の管理
- ▶畜産だけでなく稲作や畑作と緊密に結びついた草原の活用
- ▶草原は集落単位で共同管理され、持続的な草資源の利用が長年にわたり引き継がれている

貴重な草原性動植物の保全

- ▶広大な草原には数多くの希少な草原性動植物が生育・生息
- ▶九州が中國大陸と陸続きであったことを物語る植物や、阿蘇の固有種も生育
- ▶絶滅危惧種が集中している生物多様性ホットスポット

美しい草原・農村景観の維持

- ▶草原景観は人々の農業活動によって作られた「二次的な自然」
- ▶カルデラの中の水田・田畑は長年の土壌改良によるもの
- ▶カルデラ内は上から草原、森林、農地、集落という特徴的な景観

農耕祭事が息づく伝統文化

- ▶阿蘇火山を畏れ敬う心が火山信仰の元となった
- ▶おんだ祭りなどの豊作を願う数々の農耕祭事
- ▶かつては「草泊まり」や「盆花採り」などの風習があった

お問い合わせ先

■ 阿蘇地域世界農業遺産推進協会事務局

(県阿蘇地域振興局農林部 農業普及・振興課内)

☎ 0967 (22) 1115

■ 農林政策課 農林振興係 ☎ (62) 1111 内線 410

新 「阿蘇」のイメージ 阿蘇地域世界農業遺産ロゴマーク

阿蘇地域世界農業遺産推進協会は、周知PR活動の一環として「阿蘇の草原の維持と持続的農業」を象徴するロゴマークの募集を行い、平成26年12月26日に発表しました。

- 目的
- 阿蘇地域のPR
 - 阿蘇地域産品の販路拡大
 - 阿蘇地域の産業振興

「農業遺産PR事業者」として登録を受け、ロゴの利用許諾を受ければ無償で利用できます。ロゴの利用については、利用規定と手引きがありますので、詳しくは協会ホームページをご覧ください。

阿蘇地域 世界農業遺産

検索



第2期



阿蘇草原再生

阿蘇草原再生募金

2010 年秋にスタートした阿蘇草原再生募金には、企業・団体や一般の方々から多大なご支援をいただきました。

2013 年度からは第2期募金として、現在3ヶ年（2016年3月まで）の取り組み推進中です。この間に募金への協力方法もさまざまなアイデアが生まれています。残り約1年間をかけて、さらに募金への協力・支援の輪を広げていきます。

阿蘇地域の皆さん！

世界農業遺産、世界ジオパークで世界から注目の中核には『草原』が欠かせません。これを次世代に！ご協力お願いします。

支援のカタチ



募金専用口座一覧表

金融機関	支店名	種別	口座番号
★ 肥後銀行	内牧	普通	1316172
★ 熊本銀行	阿蘇	普通	3008481
ゆうちょ銀行			01750-1-122196
J A 阿蘇	阿蘇町中央支所		0101758
★ 熊本第一信用金庫	大津	普通	0094459
福岡銀行	熊本営業部	普通	1475918
★ 西日本シティ銀行	熊本支店	普通	3019175

★は本支店で専用振込用紙を利用できます（在庫切れの際はご容赦下さい）。

他に、募金付き Quo カードや waon カード、協賛自販機などもあります。お気軽にお尋ね下さい。

これまでの募金額 約 **9,027** 万円

（2010 年 11 月～2014 年 11 月）

内、第2期募金は約1,990万円

募金の中から約 4,800 万円を活用！

① 繁殖あか牛導入助成	4年間 297 頭計 1,782 万円
② 野焼き再開を助成	5ヶ所 110ha 計 465 万円
③ 野焼きボランティア運営を助成	約60ヶ所、のべ9,000名計 1,650 万円
ほか、草原環境学習、草小積み設置とPR等	計 938 万円

●他に、募金キャンペーンやシンポジウム、広報活動にも充てています。

・実質草原保全
・地元が元気に
・募金者に分り易い
・テーマに緊急支援中

問▶ 阿蘇草原再生募金事務局（公財）阿蘇グリーンストック内 ☎ 0967 - 35 - 1110

草地景観保全啓発カレンダー掲載写真の名称について

町内全戸に配布いたしました「草地景観保全啓発カレンダー」について、各月ごとに掲載している写真の名称を下記一覧のとおりご紹介いたします。普段はなかなか見ることのない希少な動植物や地域の催事などもご紹介していますので、この機会に是非ご確認ください。

月	写真①（左外）	写真②（中左）	写真③（中右）	写真④（右外）
1月	出初め式	だご汁	成人式	ヤマメの塩焼き
2月	寒椿	高森田楽	ホンDIGツネと草原	新酒とふるさとの味まつり
3月	野焼き	ふきのとう	菜の花	卒業式
4月	田植え（農業体験）	キスミレ	高森峠千本桜	ヒゴイカリソウ
5月	菅山の棚田	草原と赤牛	オオルリシジミ	泥りんピック
6月	ハナシノブ	アサギマダラ	水田と根子岳	タマムシ
7月	草部吉見神社夏季大祭	ツクシマツモト	高森阿蘇神社夏季大祭	ヒメユリ
8月	風鎮祭（山引き）	オオムラサキ	花火大会	ツクシラオとルモンハバチ
9月	らくだ山	高森産農産物	彼岸花	運動会
10月	コスモスと根子岳	尾下の獅子舞	ススキと根子岳	稲刈り体験
11月	ソバの花と根子岳	高尾野の大イチョウ	夕暮れの根子岳	紅葉の川上渓谷
12月	おゆうぎ会	ウサギの足跡	もちつき	雪景色の根子岳

★今回掲載した写真の一部については、稲益親義様（南阿蘇村）、横田整一郎様（熊本市）からご提供いただきました。貴重なお写真をご提供いただき誠にありがとうございました。